

2019年度
函館市西部地区再整備事業
町会活性化プロジェクト
実施報告書

2020年5月

函館市
都市建設部まちづくり景観課
市民部市民・男女共同参画課

目 次

| | | |
|-----|------------------------------|---|
| 1 | 西部地区再整備事業における町会活性化プロジェクトについて | |
| 1-1 | 西部地区再整備事業について | 1 |
| 1-2 | 町会活性化プロジェクトについて | 2 |
| 2 | 元町町会活性化試行プロジェクトについて | |
| 2-1 | プロジェクト実施までの経過 | 4 |
| 2-2 | 事業内容 | 4 |
| 2-3 | 当初の予定（プロジェクトの進め方の全体像） | 5 |
| 2-4 | 体制（参加者の属性など） | 5 |
| 2-5 | 特別会議の内容 | 6 |

1 西部地区再整備事業における町会活性化プロジェクトについて

1-1 西部地区再整備事業について

函館山麓に位置する西部地区は、我が国最初の国際貿易港として海外に門戸を開いた函館発祥の地であり、異国情緒漂う歴史的な町並みや美しい景観などの魅力的な環境に、ここで生活する方々の日常の暮らしが相まって、市民のみならず多くの観光客が訪れる地区となっておりますが、近年、人口減少や高齢化等によりまちの活力は低下し、空家・空地が増加するなど、地区の魅力を失いかねない状況にある。

そのため、これらの課題解決に取り組みながら、将来にわたって持続可能な西部地区ならではの暮らしと風景を構築し、市内外の多様な方々の移住などによる定住人口の回復と交流人口の底上げを目的とする西部地区再整備事業を実施するため、本事業の基本的な考え方や方向性を定めた「函館市西部地区再整備事業基本方針」（以下、「基本方針」という。）を2019年7月に策定した。

基本方針において、めざす将来像として「西部地区ならではの『まちぐらし』の実現」を掲げ、将来像の実現に向けて、推進体制を構築※するとともに、「共創のまちぐらし推進プロジェクト」、「既存ストック活性化プロジェクト」、「町会活性化プロジェクト」の3つの重点プロジェクトに取り組むこととしている。

※ 2019年10月1日付で、「函館市西部まちぐらしデザイン室」を設置。

1-2 町会活性化プロジェクトについて

(1) 目的

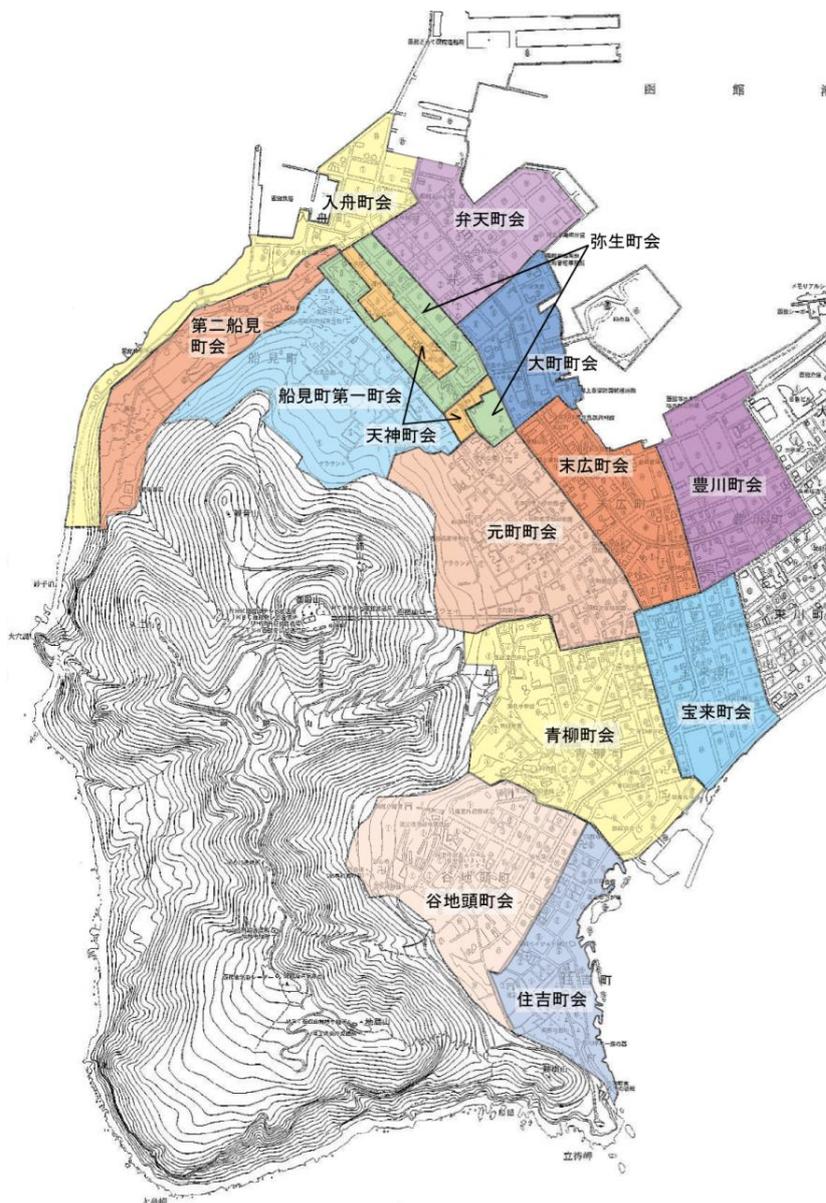
人口減少や少子高齢化、町会加入率の低下などにより、町会の資金力や活動量が減少し、町会の存続にも大きな影響を与えていることから、市職員や学生等の新たな人材が町会に深く関わり、状況分析と方策の検討を町会と協働で行いながら、町会の活性化につなげる取組を進める。

(2) 対象地区内にある町会

入舟町会、船見町第一町会、第二船見町会、弥生町会、天神町会、弁天町会、大町町会、末広町会、元町町会、青柳町会、谷地頭町会、住吉町会、宝来町会、豊川町会

合計 14 町会

【町会の範囲図】



(3) 事業内容

- 対象地区から特性の異なる数町会をモデルとして抽出し、協働でプロジェクトを実施していく。
- 市職員や学生等による町会活性化のための特別チームをモデル町会と同数創設する。
- 特別チームは、それぞれの町会と月1回程度特別会議を行い、町会の状況や課題を分析し、必要な方策を検討する。
- 検討の結果、活性化のために必要とされた方策については、町会と特別チームの協働で試行する。
- 単年度毎にプロジェクトの内容を検証し、モデル町会の変更や事業の継続などを検討する。
- 全体の内容を記録した報告書を作成し、他の町会とも共有し、活性化につなげる。
- 地域包括支援センターをはじめとする地域に関わる各種団体、小中学校さらには高校・大学などとの連携を推進する。

2 元町町会活性化試行プロジェクトについて

2-1 プロジェクト実施までの経過

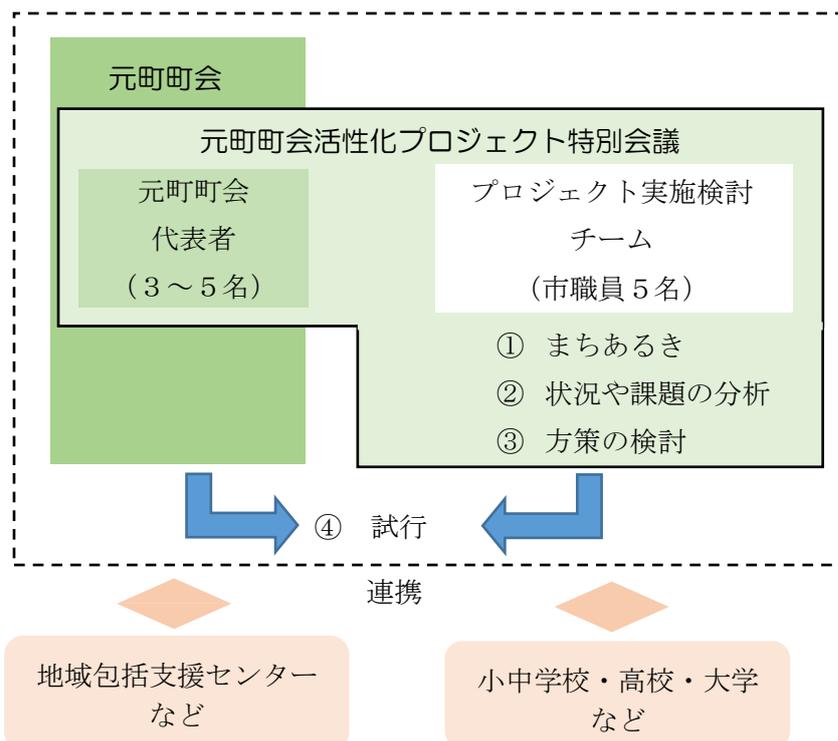
| | |
|-----------|---------------------------------------|
| 令和元年7月 | 「函館市西部地区再整備事業基本方針」策定 |
| 令和元年8月 | 関係課長意見交換会 |
| 令和元年8月～9月 | 庁内（都市建設部・市民部）打ち合わせ |
| 令和元年10月 | モデル町会選定（元町町会） |
| 令和元年10月 | 「函館市西部地区再整備事業『町会活性化プロジェクト』の進め方について」策定 |

2-2 事業内容

2019年度は、2020年度以降の円滑な事業実施に向けた試行期間とし、市職員（都市建設部・市民部）で編成するプロジェクト実施検討チームがモデル町会と話し合い、次のことを町会と協働で実施する。具体的な方策の実施に費用を要する場合は、町会の負担とする。

- ・町会の状況や課題の分析
- ・実際にまちを歩き、まちのことを良く知る
- ・町会の強みを伸ばしたり、町会が抱える課題解決のために具体的な方策を検討（小さなことでもよい）
- ・検討した方策を実施
- ・実施結果の検証，報告書の作成

【イメージ図】



2-3 当初の予定（プロジェクトの進め方の全体像）

令和元年10月 第1回 試行プロジェクト実施
（顔合わせ、現状分析、地域包括支援センターから地域の状況説明、
まちあるき）
第2回 試行プロジェクト実施（具体的な方策の検討①）
令和元年11月 第3回 試行プロジェクト実施（具体的な方策の検討②）
令和元年12月 第4回 試行プロジェクト実施（具体的な方策の試行）
令和2年 1月 第5回 試行プロジェクト実施（方策の検証）

2-4 体制（参加者の属性など）

町会代表者とプロジェクト実施検討チームにおいて具体的な方策の検討を行い、実際に元町町会において方策を実施する。会議は、町会館で行う。町会代表者については3～5名程度とし、役員のほか性別、年齢、家族構成などが可能な限り分散するように町会に選出してもらう。

| 町会代表者 | |
|---------|--------|
| 肩書き | 氏名 |
| 会長 | 上野 伊和夫 |
| 副会長 | 犬石 道正 |
| 副会長 | 佐藤 真紀夫 |
| 交通部長 | 上野 幸子 |
| 青少年育成部長 | 佐藤 不二子 |

| プロジェクト実施検討チーム（市職員） | |
|--------------------|--------|
| 肩書き | 氏名 |
| 都市建設部まちづくり景観課 主査 | 上田 亮平 |
| 都市建設部まちづくり景観課 主事 | 品田 朋廣 |
| 市民部市民・男女共同参画課 主査 | 奥ヶ谷 貴史 |
| 市民部市民・男女共同参画課 主事 | 久保澤 和紗 |
| 市民部市民・男女共同参画課 主事 | 播磨 まりや |

2-5 特別会議の内容

| 第1回 元町町会活性化プロジェクト特別会議 | |
|-----------------------|---|
| 日時 | 令和元年10月18日(金) 13:30~16:30 |
| 場所 | 元町町会館 |
| 参加者 | 10名(町会 上野(伊), 犬石, 佐藤(真), 上野(幸), 佐藤(不)) (市 上田, 品田, 奥ヶ谷, 久保澤, 播磨) |
| 会議内容 | 開会 オリエンテーション 町会活性化プロジェクト等の説明 他己紹介 元町町会の状況把握 元町町会地域まちあるき まちあるきのまとめ 発表 閉会 |

○開会～元町町会の状況把握

はじめに、都市建設部まちづくり景観課から函館市西部地区再整備事業基本方針の説明、市民部市民・男女共同参画課から本プロジェクト実施の目的や事業内容について説明した。

次に、これからプロジェクト終了まで、一緒に方策の検討を行っていくメンバーが初めて顔を合わせたので、親睦を深めるとともに緊張をほぐすため他己紹介を行った。

その後、元町町会の犬石副会長から元町町会の会員数等の基本情報や活動状況、強みや弱みなどの説明があった(下記参照)。また、地域包括支援センターあさひの小林保健師より元町地区の現状についての説明があり、元町地区は西部地区のなかでも年少人口の割合が高く地域の子どものほかの地区に比べると多いことや、高齢者の見守りなどが活発に行われていることがわかった。

【元町町会について】

| | |
|---|--------------------------|
| 基本情報 | |
| 設立年月日 | 昭和30年4月1日 |
| 会員数 | 400世帯(町会加入率 6割) |
| 役員数と平均年齢 | 9人 73歳 |
| 会費 | 400円 |
| 会館の利用状況 | 各種部活動、ナンプレ教室、切り絵倶楽部などで利用 |
| 活動状況 | |
| 各部では少人数ながら、活発に交流や学習をしている。自宅に閉じこもらず、楽しく活動することを目標としている。 | |

強み

- 町会活動に積極的に参加，お手伝いしてくれる町民が20～30人程度いる。
- 高齢者への見守り声かけ「ふれあい活動」で高齢者の動静を見守っている。

弱み

- 行事に参加している町民が高齢化により減少してきている。
- 町会役員の獲得と若返りが急務である。

○まちあるき

まちあるきでは，2班に分かれ，実際に元町町会の区域を歩いてみて気づいたところを，地図に書き込みお互いに発表しあった。また，第2回会議に向け，まちあるきで気づいたことや各グループの発表を聞き，実際に実施してみたい方策などをアイデアシートにまとめ宿題として提出することとした。

(まちあるきで出た意見)

- 元町町会の区域にはコンビニがない
- 観光地なので駐車場が増えた
- 近くに高校や小中学校，幼稚園などもあり子どもがいる地域である など

○会議の風景

—他己紹介—



—まちあるき—



—まちあるきの発表の様子—



—まちあるきの地図—



| 第2回 元町町会活性化プロジェクト特別会議 | |
|-----------------------|--|
| 日時 | 令和元年10月31日(木) 13:30~16:00 |
| 場所 | 元町町会館 |
| 参加者 | 9名(町会 上野(伊), 犬石, 佐藤(真), 上野(幸)) (市 上田, 品田, 奥ヶ谷, 久保澤, 播磨) |
| 会議内容 | 開会 アイデアシートの発表 グループでの話し合い 発表 まとめ 閉会 |

○アイデアシートの発表

前回の振り返りを行い、事前に提出してもらいまとめていた、元町町会活性化のために実際に実施してみたい方策のアイデアシートから、各自が考えたアイデアの発表を行った。

その後、前回まちあるきをおこなったグループに分かれ、今年度実施する活性化のために必要な方策を絞り込み発表することとした。

○グループでの話し合い

活性化のために必要な方策は、本会議に出席しているメンバーで実際に実施するため、下記の条件で実施可能なものとした。

- ① 市職員がいなくても、次年度以降、継続できるもの
- ② 今年度の実施時期は、12月中旬~1月中旬の間でできるもの
- ③ 実施に係る費用は、町会が負担すること
- ④ 町会の財政状況を考え、あまりお金をかけなくてもできるもの

○発表

Aグループの内容(上野(伊), 佐藤(真), 品田, 奥ヶ谷, 播磨)

方 策 : クリスマス会の実施

理 由 : 町会では以前クリスマス会を実施していたが、子どもの参加が少なくなってきたため、実施しなくなった。それを復活させることで、子どもたちを呼び込み賑わいがうまれるほか、その保護者たちも呼び込むことができ、新しい繋がりをつくることができる。

Bグループの内容（犬石，上野（幸），上田，久保澤）

方 策 ：もちつき大会の実施

理 由 ：町会館に人を呼び込むことを行いたいと考え、さらに子どもたちが触る機会の少ない、出来たてもちを作ってみんなで食べることで他世代の交流や、普段町会と関係の希薄な若い世代の加入を促進することができる。

〇まとめ

2つのグループから発表された方策について、町会関係者で話しあい決定することとした。第3回特別会議では、決定した案を元に具体的な企画内容を決定していくこととして終了した。

〇会議の風景

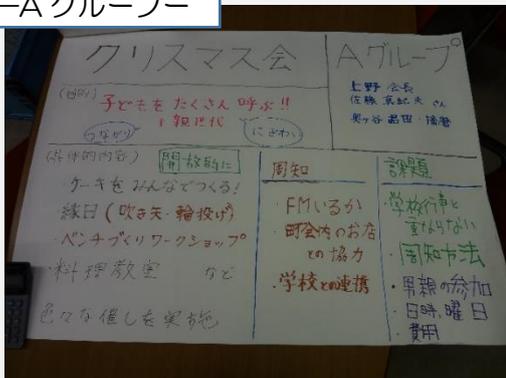
—グループでの検討—



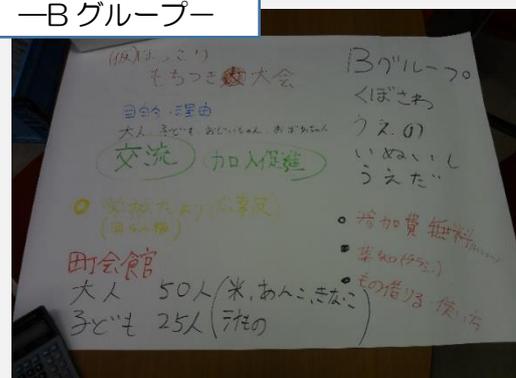
—発表—



—Aグループ—



—Bグループ—



| 第3回 元町町会活性化プロジェクト特別会議 | |
|-----------------------|--|
| 日時 | 令和元年11月21日(木) 13:30~16:30 |
| 場所 | 元町町会館 |
| 参加者 | 10名(町会 上野(伊), 犬石, 佐藤(真), 上野(幸), 佐藤(不)) (市 上田, 品田, 奥ヶ谷, 久保澤, 播磨) |
| 会議内容 | 開会 実施目標や企画内容の作成 まとめ 閉会 |

○実施目標

前回の会議後に、町会の関係者で話し合ってもらい、もちつき大会を行うことに決定した。第3回特別会議では、町会の抱える課題などをもとにイベント実施におけるターゲットや目的、目標を決めたほか、イベント名、日時・場所、参加者、広報の方法、実際に行うこと、必要機材・材料等、協力依頼などについて協議した。

【町会が抱えている課題】

- ・ 役員の担い手不足
- ・ 行事参加者の高齢化, 減少



課題解決のため、子どもやその親が参加しやすい行事を実施！！

① ターゲット (誰を集めるか)

- ・ 元町に住んでいる子どもとその家族

② 行事を開催する目的

- ・ 町会の行事に子どもたちにもっと参加してほしい
- ・ 子育て世代(子どもの親)に、町会活動に参加してほしい
- ・ 町会未加入の世帯には、行事をきっかけに加入してもらいたい

③ 目標

| | 目標値 (2019年度) | 考え方 |
|----------------------|--------------|------------------------|
| 子どもの参加者数 | 15人以上 | 元町居住の15歳未満の人数(91人)*15% |
| 全体の参加者数 | 45人以上 | 子ども15人+保護者15人+その他15人 |
| イベント開催に携わった40歳代以下の人数 | 1人以上 | |

※前年度までは、行事の参加人数を抑えていないため、基準値は設けていない。

④ その他

- ・ 行事は、町会がメインで実施し、市役所はサポートに徹する。

〇まとめ

会議の中では様々な意見が出て、第3回会議中では行事内容を全て決定することは出来なかった。そのため、実施するまでに数回、特別会議外での打ち合わせをすることとなった。

(出た意見の例)

- ・杵と臼を使って実際に餅つきをさせてみてはどうかという意見に対して、今年度は若い世代の市の職員がいるため実施できるかもしれないが次年度以降の継続は難しいため、機械で作っているような味付けで食べさせてはどうか。
- ・子どもたちをたくさん呼ぶために、今までやったことのない小学校、学童、幼稚園、児童館などにチラシを持って行ってはどうか。
- ・例年、実施時期は豆まきも行っているため、もちつき後に豆まきをおこなってはどうか。

【決定した企画内容】

| ■具体的な企画内容 | | | やること | 餅つき(機械)・豆まき ※時間があればカルタ | |
|-------------------------|---|-------|-------|--|---|
| イベント名 | こどもたち集まれ 丸めて食べよう“つきたて餅”＆豆まき大会 ※もちつき機で餅をつくことを併記する | | 当日の流れ | | |
| 日時・場所 | 2020年2月9日(日)10時～13時 ・場所 町会館の2階 | | 時間 | 餅つき(機械) 豆まき | |
| 参加者 | ・事前に受付をするか? | △ | 0:0 | ・スタッフの集合時間は、犬石さんが実際に機械で餅をつくり、どのくらい時間が掛かるか試してから決定 | |
| | ・当日、受付名簿をつくるか? つくる場合の内容は? | ○ | 10:00 | 受付スタート | |
| | ・町会以外の参加は可能か? | ○ | 10:00 | 開会あいさつ | |
| | ・元町以外の住人の参加は可能か? | ○ | 10:30 | 餅をまめ始める | |
| | ・参加見込人数は? | ○ | 11:00 | 餅をまめ始める | |
| | ・参加費は徴収するか? | × | 11:00 | 食事タイム | |
| | | ・約60人 | 11:30 | ↓ | きな粉、あんこ、納豆、お汁粉、お雑煮など |
| 広報 | ・チラシ、ポスターの作成 | ○ | 12:00 | ↓ | (食事の様子を見て) 豆まきスタート |
| | ・回覧板回付 | ○ | 12:30 | ↓ | 個包装のチョコなどもまく |
| | ・元町町内の全戸配付 | △ | 13:00 | 閉会 | |
| | ・FMにあるか | ○ | | 必要機材・材料等 | 【餅つき】 ・餅つきの機械(最低2台必要) 犬石さん、上野さん ・材料(餅米、あんこ、お雑煮に必要なものなど) ・その他(ポンプの消毒剤、手袋、マスク、フルート、ビニールシートなど) 【豆まき】 ・「まく用」と「焼りに持たせる用」 【その他】 ・行事保険への加入～市で業者を調べて紹介する |
| | ・新聞 | ○ | | 協力依頼 | 【衛生面・救護面】 ・高橋病院～町会から依頼 【お手伝い】 ・西高、青柳中～対応保留(市から学校に相談、多すぎて困る、5人位。) |
| | ・販売所だより(いけまつ) | ○ | | その他 | ・プログラムをつくり参加者に渡す(町会で作成) ・参加者アンケートの実施(市で作成) ・町会加入申込書の配付(市で作成) ・食中毒や焼つきまじりに注意 ・12/17町会会議で、実施内容の了解を得た後、すぐ動き出せるよう準備を進める。 |
| | ・学校(青柳小・弥生小) | ○ | | | |
| ・幼稚園(白百合・遺愛・龍谷) | ○ | | | | |
| ・児童館(西部・谷地頭・東川[女性センター]) | ○ | | | | |
| ・学童、保育園、子育てサロン | × | | | | |

※イベント名、日時・場所については、会議中には決まらず後日決定した。

〇会議の風景



| 丸めて食べよう『つきたてもち』&豆まき大会 (第4回 元町町会活性化プロジェクト特別会議) | |
|--|---|
| 日時 | 令和2年2月9日(日) 10:00~12:00 |
| 場所 | 元町町会館 |
| 参加者 | 全体の参加者 97人 子どもの参加者 38人 |
| スタッフ | 20名以上 (特別会議のメンバーのほか、高橋病院の方など多くの方の協力が得られた) |
| 会議内容 | 開会 丸めて食べよう『つきたてもち』&豆まき大会 閉会 アンケートの記入 元町町会活動紹介(元町町会加入申込書)の配布 |

○前日までの準備

- ・佐藤さんと子どもがいる家庭へのピラ配り
- ・当日の流れ、役割分担の確認(町会主体で運営、市はサポート)
- ・必要物品の確認、買い出し
- ・会場設営(2階全面ブルーシート貼り、テーブル設置等)
- ・食材の準備(もち米を水に浸す) 8時間以上浸す
- ・もちつき機の整備(1月中旬以降 動作確認)

○広報

イベント実施に際し、市でチラシを作成し、町会と一緒に個別配付や学校などへ配布し周知を図った。

【周知方法】

- ・回覧板、町会館の掲示板
- ・FMいるか、新聞、販売所だより
- ・子どもがいる家庭へ個別配付
- ・近隣の小学校、幼稚園、児童館を訪問し配付依頼

| | | | | | | |
|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|
| 弥生小学校 | 青柳小学校 | 遺愛幼稚園 | 白百合幼稚園 | 龍谷幼稚園 | 谷地頭児童館 | 東川児童館 |
| 200部 | 250部 | 60部 | 50部 | 50部 | 50部 | 50部 |

子どもたち集まれ! **無料**
 当日参加OK!
 誰でも参加可能!

丸めて食べよう
“つきたてもち”&豆まき大会

日時 2020年2月9日(日)
場所 10:00から開場 12:00閉終了予定
※途中の入場も可能です
 元町町会館(元町23番15号)

もちれめ&試食会 10:30ころ~
 持ちもの: エプロン・三角巾
 もちつき機で作ったもちを、みんなで丸めて、好きな味付でおいしく食べよう!
*あんこもち、おそうじなどを用意しています。

豆まき 11:30ころ~
おかしも用意しています!
 赤オニ・青オニもやってくる!?

みなさんの参加をお待ちしております!
 お問い合わせ先
 Tel/Fax 0138-22-4304 (元町町会館)
※社団体のご用金はありませんので、ご了承ください。

配布したチラシ

○当日の様子

—もちづくり—



—豆まき—



○当日配布した資料

元町町会 活動紹介

イベントの開催

七夕や、ラジオ体操、おもちづくり、豆まきなど様々なイベントを行っています。

街路灯の管理

たくさんの街路灯を町会で管理しており、町会費の中から、修理代や電気代を払っています。

交通安全・地域美化活動

地域安全パトロールなどを行い、子どもの安全、地域の安全を守っています！

まちをきれいにするために、地域のゴミ拾いもしています！

会館

仲間同士のちょっとした集まりの場としても、会館を利用できます。

新入学児童へのお祝い

新しく学校へ入学する子どもたちへ、お祝い品をお配りしています。

資源ごみ回収

町会では、段ボールや新聞紙等の資源ごみ回収も行っています。

毎月第2土曜日

町会費

月額 350円

町会では、上記の他にもたくさんの活動を行っています！
しかし、現在、若い人の加入が少なく困っています…。

より良い地域づくりのために、あなたの加入をお待ちしています！

お問い合わせ先

元町町会館 (tel 23 番 15 号)

Tel・Fax : 0138-22-4304

開催日 : 月曜日から金曜日

9時30分～15時

★元町町会加入申込書★

この部分を切り取り、元町町会へ提出してください。

フリガナ
お名前 (世帯主) _____

ご住所 _____

ご連絡先 _____

参加者アンケート

今後のイベントの参考にするため、アンケートにご協力ください。

年齢 小学校入学前 ・ 小学生 (_____ 年生) _____
 中学生～20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60歳以上

性別 女性 _____ ・ 男性 _____

Q1 このイベントをどこで知りましたか。(あてはまるものすべてに✓)

チラシ・ポスター 回覧板 道新いけまつの情報紙
 新聞 学校 幼稚園 児童館
 他の人から聞いた その他 (_____)

Q2 イベントの内容について

※それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

| | |
|---------|-----------------------|
| 時間 | 短い ・ ちょうどよい ・ 長い |
| もちづくり | とても良い ・ 良い ・ ふつう ・ 不満 |
| 豆まき | とても良い ・ 良い ・ ふつう ・ 不満 |
| スタッフの対応 | とても良い ・ 良い ・ ふつう ・ 不満 |

良かった点や悪かった点を教えてください。

例) ●●がおいしかった。もっと△△してほしい。など

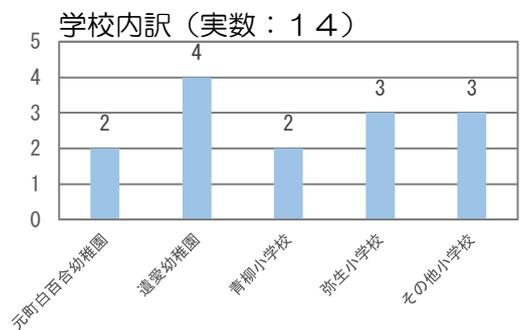
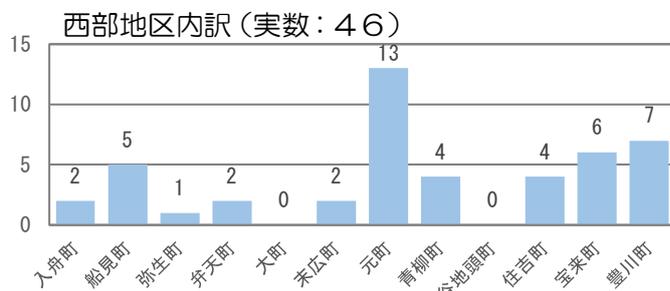
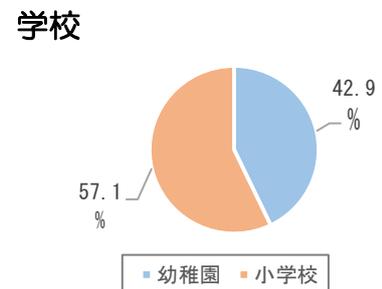
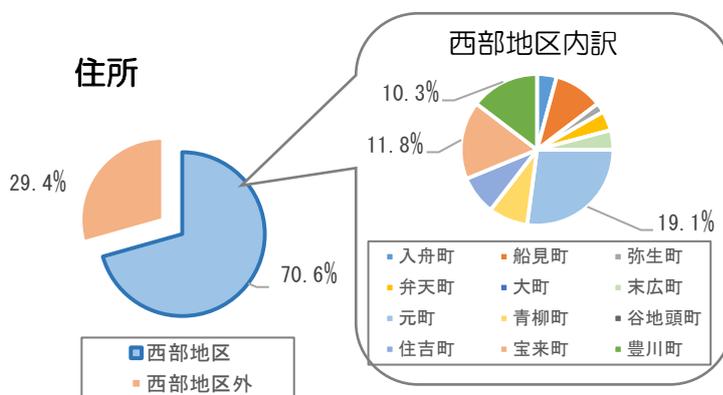
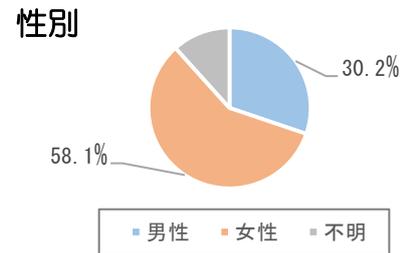
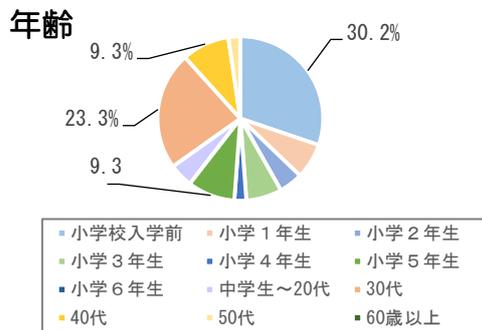
Q3 次回もこのイベントに参加したいですか。(あてはまるもの1つに✓)

参加したい わからない 参加しない

これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。
 こどもたち集まれ！丸めて食べよう“つきたもち”&豆まき大会
 R2.2.9 元町町会

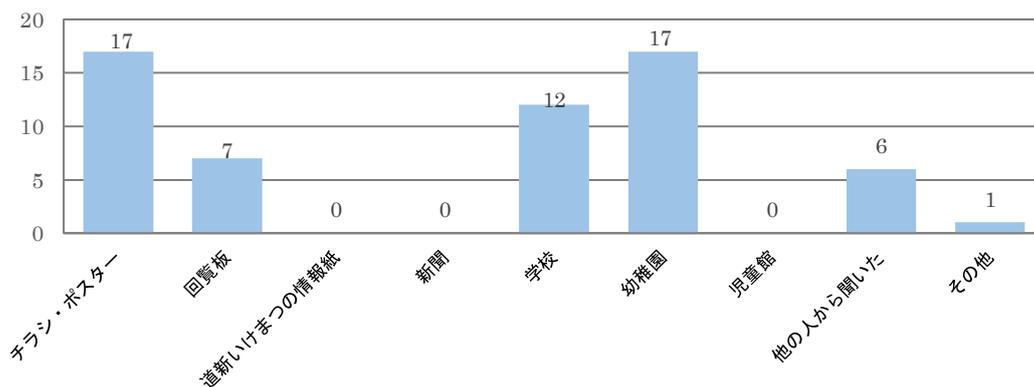
○アンケート結果

回答者の属性（回答数：86）



イベント内容

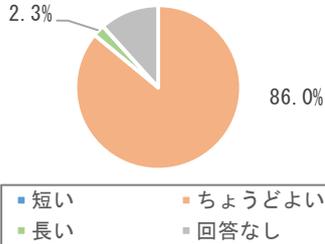
Q1 このイベントをどこで知りましたか（複数回答）



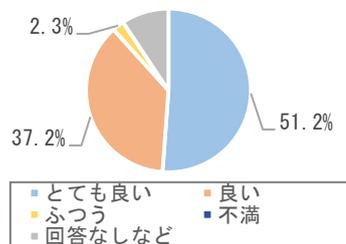
イベント内容（続き）

Q2 イベントの内容について

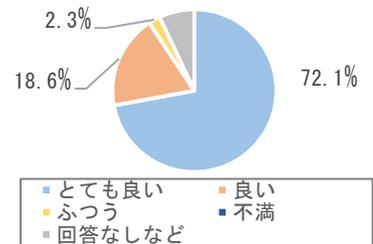
(1) 時間



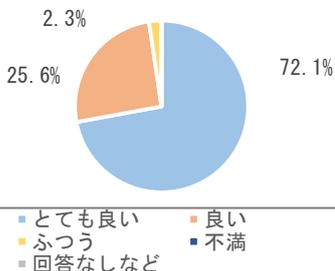
(2) もちづくり



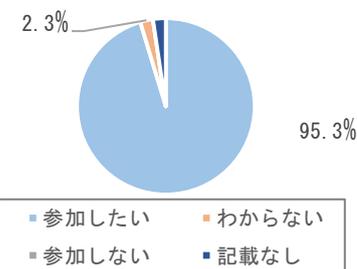
(3) 豆まき



(4) スタッフの対応



Q3 次回もこのイベントに参加したいですか



自由記述 ※同様の意見についてはまとめて記載しています。

- 家庭的な雰囲気の中、皆が楽しんでいるのがとても良かったです。これからも地域の人々と楽しめるイベントが増えるといいですね。
- 雰囲気良く、楽しく過ごせました。今の時代、それぞれ予定がある家庭も多いので、今回のように、どの町会のイベントでも誰でも参加OKだと良いなあと思いました。
- 普段行くことの少ない町会で、子どもと高齢者が一緒にできるイベントは大変いいものと思う。一定のスタッフに負担がかかっているようにみえたので、役割分担すればもっとなごやかにすごすることができるのでは。
- 豆まきが子供たち楽しかった様で良かった。
- 鬼の登場がとっても良かったです。スタッフの気配りもとてもありがたかったです。おいしくつきたてのおもちを頂くことができました。また来年もぜひ開催してほしいです。
- 時間を昼ぐらいにしてほしい。
- もちよし おによし
- なっとう用意してくれておいしかった。
- おにがぼっこをもたせてくれた。(たのしかったです。)
- おいしかった。(雑煮、納豆、おあげ等の意見)
- 来年もまた来たいです。
- もーちょいマメをふやしてほしい。
- 場所がせまいかなと思いました。

| 第5回 元町町会活性化プロジェクト特別会議 | |
|-----------------------|--|
| 日時 | 令和2年3月25日(水) 10:00~12:00 |
| 場所 | 元町町会館 |
| 参加者 | 9名(町会 犬石, 佐藤(真), 上野(幸), 佐藤(不)) (市 上田, 品田, 奥ヶ谷, 久保澤, 播磨) |
| 会議内容 | 開会 実施結果の共有 当日の振り返り 元町町会活性化プロジェクト全体の振り返り 閉会 |

○実施結果の共有

事前に作成していた実施目標や後述の参加者アンケート集計結果を基に、イベント実施の結果の共有を行った。

実施目標に対して、イベントに参加した子どもの参加者数、全体の参加者数、イベント開催に携わった40歳代以下の人数のいずれも、達成していることから本イベントは満場一致で成功したという意見であった。

| 参加者数 | | | |
|----------------------|-------------|---|-----------|
| | 目標値(2019年度) | | 結果 |
| 子どもの参加者数 | 15人以上 | ➡ | 38人 |
| 全体の参加者数 | 45人以上 | | 97人 |
| イベント開催に携わった40歳代以下の人数 | 1人以上 | | 3名 |
| | | | ※11時時点で確認 |

アンケート結果(回答者数: 43人)

年齢 小学校入学前 約30%, 小学生 約30%, その他 約38%(そのうち、30代が約7.5割)であった。

周知方法 イベントを知った方法としては、チラシやポスター、幼稚園、学校がそれぞれ10人以上と多く、次いで回覧板が7人であった。(複数回答)

イベント内容 イベントの時間、もちづくり・豆まきの内容、スタッフの対応すべて、良かったという意見が多く、次回のイベントにも参加したいと答えた人が95%を超えている。

○当日の振り返り

グループに分かれ当日、イベントを開催してみた感想などを意見出ししてもらい、その後それぞれのグループでどのような意見が出たか発表を行った。主な意見は下記のとおり。

Aグループの内容（犬石，佐藤（真），上田，品田）

- 人数の予測ができなかった。予想より参加者が多かった。もちの量としては満足してもらえたのかなと思う。まめの量が足りなかったのは、仕方がないと思う。もちつき機からもちを取り出すのが大変だった。
- 元町在住の人に限定しなかったのが良かったと思う。遺愛幼稚園は、遠方から来る人が多い。
- イベント自体は成功だと思う。また、町会でこのようなイベントをやっているということを知ってもらえる良い機会だったと思う。しかし、町会の若返りにつながったかはわからない。
- 一つの町会単独ではなく、他町会等と合同で開催するという方法もあるとは思っている。
- FMいるかのラジオを聞いて参加した人もいた。イベントの規模としては、50～60人くらいが適正なのかも知れない。

Bグループの内容（上野（幸），佐藤（不），奥ヶ谷，久保澤，播磨）

- 時間的にはちょうど良かったのではないかな。
- 人数が多すぎたので、チラシに事前予約制と一言入れた方が良かった。来る人数が読めないと、準備にとっても労力がかかる。
- 子どもと一緒に参加する保護者が手伝える仕組みがあれば、若い人の町会参加に繋がるのではないかな。
- 今回は、チラシを学校や幼稚園に配る人、必要な物を買に行く人など一部の人に大きな負担がかかってしまった。
- 若い人に役員になってとお願いしても難しいため、イベントの時などにお手伝いとして参加してくれる人などを集めた方が良い。

○元町町会活性化プロジェクト全体の振り返り

試行プロジェクトの内容についての振り返り、町会の意見として実施してみて思った感想や意見などを出してもらった。

①具体的な事業の進め方について

Q1：全体の進め方（各回の構成）についてどうだったか

- ・構成はよかった。順序立てて進めることができたと思う。町会側の自主性プラス市役所のバックアップで進めることができた。
- ・まちあるきが良かった。
- ・まちあるきは、別の機会（小中学生や留学生など）でもしているから新しい発見は特にない。各回の時間を1時間ぐらいで（午前中潰れるのはつらい）。
- ・展望台作るとか現実的に無理なのはやっていない。

②特別チームの創設について

Q1：構成メンバー（市役所のみ）はどうだったか

- ・今回は市役所のみで良かった。大学生が入ってくれるのであれば、自主的にプロジェクトに関わってくれる人がいい。
- ・たくさんいるといいが、まとまらないかも。

Q2：人数（5人）はどうだったか

- ・人数・人柄ともにベストだった。
- ・良かった。
- ・こんなに市職員が来てくれて、多くて驚いたけどちょうど良いのではないかな。
- ・3人ぐらいでも良い。

③特別会議の開催について

Q1：会議の回数は（全5回）

- ・何回が適切かはわからないが、良かったと思う。
- ・回数が多いとは感じていない。
- ・イベント実施前は2回ぐらいが負担にならない。
- ・1時間程度なら3回でも大丈夫かも。

Q2：会議のスパンは（2～3週間おき）

- ・前半は詰まっていた感じ、時間に追われた感じはある。
- ・指定の日に参加するだけだったので、特段意見はない。
- ・多い。

Q3：1回の会議時間は（3h～3.5h）

- ・文字で見ると長かった気がするが、時間内で話し合いが終わらなかったこともある。時間がどうかではなく、時間がかかっても話をまとめることが大切だと思う。
- ・良かった。
- ・長い。1時間程度が良い。

Q4：次回会議日程の決め方は

- ・会館の都合もある。参加者と会館の予定を確保するのが大変だった。あらかじめ事前に決まっているほうが、調整は楽である。
- ・各町会の空いている日や都合に合わせる（元町町会の場合は、毎週火曜日の午前中なら良かった）。

Q5：町会の代表者と市役所職員の打ち解け方は(今回は他己紹介。これでよかった?)

- ・良かった。
- ・面白い、他己紹介は初めてやったが、相手のことを聞き出すのは良いこと。

Q6：実施時期（10月～3月）は（時期に関係はない?）

- ・港祭りや新年会などの大きな行事を除く日程が良い。
- ・冬でない方が良い（ウイルスや冬の坂道で怪我をされるのが怖い）。
- ・新年会の時期は忙しいからできない。

Q7：町会の代表者の人数（5人）は（何人が適切か）

- ・様々な意見を出すという観点からは、もっと多いほうが良いと思う。しかし、元町町会の場合、5人以上の人を集めることができないという状況もある。
- ・5人ぐらいがちょうど良い（5人なら元町町会は人を出せる）。

④プロジェクトの推進体制

Q1：包括・CSとの連携はどうするのか

- ・包括支援センターの業務は、今回の事業の趣旨とは違う気がする。医療や高齢者のケアということになってしまうのではないか。
- ・内容が広がるから、会議の際に入るのも良いのではないか。
- ・あまり輪が大きくなりすぎるとまとまれるのか？

Q2：今後どういうところとの連携が必要か（プロジェクト実施の観点から）

- ・広報は、事前申込制という前提があれば、FMいるかを活用するということはあるかと思う。お店などへのチラシの配付（掲示依頼）はあると思う。
- ・イメージがわからない。

⑤全体の感想

Q1：今回やってみてどうだったか。（良かった点）

- ・1回目のまちあるきが良かった。元町町会のまちを知るのは大きかったと思う。まち全体を見て歩くことで、普段は気付かないことに気付くことができた。
- ・すべて良かった。
- ・若い人と話せて刺激を受けた。

Q2：今回やってみてどうだったか。（悪かった点）

- 市役所との窓口役だったため、事前の打ち合わせが多かったのが大変だった。会議自体ではなく、会議に関わるのが色々多かった。
- 時間が長い。

Q3：全体を振り返って今後はこうしたほうが良いことなど

- やってよかった。
- 1人の負担が多かった。

Q4：町会活性化につながったと思うか

（つながった）

- 他町会の人に、元町町会館の場所を知ってもらったという点だけでも、今回取り組んだ意味はあったと思う。
- つながったと思う。活発でよかった。

（つながらなかった）

- 新型コロナウイルス感染症で外出できないこともあり、イベント後に町会に加入したいと来た人はいない。

Q5：その他

- 色々あったけど楽しかった。
- 今回の進め方として、資料を色々作って話を進めた点は良かったと思う。これまでの町会の打合せでは資料を作っていなかったし、紙で残っていないため、言った・言わないになることも多々あった。
- 新しい行事を一から考えるのではなく、従来の町会行事を充実させたい。
- 市として、“西部地区の活性化“というのをどうしたいのか。もっと大きいところで活性化してほしい（若者が集まる場所を作るなど）。

○会議の風景



編集後記

今回のように、市と町会のみなさんが一緒になって何かを一から作り上げるというのは初めての試みであり、プロジェクトが始まる前は、成功するか心配でしたが、今回モデル町会を引き受けてくださった元町町会のみなさんが1回目の会議から温かく受け入れてくださり、会議を重ねてみんなで決めた「丸めて食べよう『つきたてもち』&豆まき大会」当日は、町会館に人が入れなくなるほどの大盛況となりました。

若い世代の町会離れが進む中、このように大勢のお子さんに来ていただけたということは、今後行われる町会活動の参考になり得る、とても有意義なものであったと思います。

お忙しいなかモデル町会を引き受けてくださった元町町会のみなさん、どうもありがとうございました。

プロジェクト実施検討チーム

【問い合わせ先】

函館市都市建設部まちづくり景観課

〒040-8666

函館市東雲町4番13号

TEL : (0138) 21-3357

machi@city.hakodate.hokkaido.jp